

愛知県内の病院記念誌の所蔵状況に関する調査

藤本 大士

日本学術振興会特別研究員 PD (京都大学大学院)

• 背景

・長い歴史をもつ病院の中には、病院のあゆみを後世に伝えるために、記念誌を発行しているところが多い。記念誌を発行することによって、病院がどのような変遷を経たかを病院内外に示すことができる。病院内に対しては、病院のアイデンティティを示すものとして重要であろう。病院外に対しては、その病院が地域住民の健康をどのように守ってきたかの歴史を示すものとして重要であろう。そのため、病院記念誌は地域史、医療史の観点からみても重要な資料である。

・しかし、病院記念誌が商業的な出版社によって出版されることはきわめてまれであり、そのほとんどは自費出版されている。そのため、本来であれば国会図書館などに納本されているべきであるが、実際には配架されている図書館が少ないことが多いと思われる。一方で、そういった病院記念誌は地元の図書館などにのみ納本されていることも多く、重要な資料であるにもかかわらず、アクセスの点で不便な場合も多い。

• 目的

・愛知県内の病院を事例に、病院記念誌が愛知県内図書館にどれほど所蔵されているかを明らかにする。さらに、それらが国会図書館、大学図書館などに所蔵されているかも明らかにする。

• 方法

・2020年11月～2021年2月にかけて、愛知県内の市町村立図書館の横断検索システム (https://www.aichi-pref-library.jp/?page_id=72) を用い、「病院 あゆみ」「病院 記念」

「病院 年」などで検索し、愛知県内所在の病院の年史を探し、その所蔵館を調べる。

・上記文献を CiNii Books と国会図書館の検索システムで調べ、所蔵されているかを確認する。その際、病院名などで検索し、愛知県内の市町村立図書館に入っていない、病院記念誌がないかも確認する。

・上記文献を「日本の古本屋」で調べ、販売がある場合はその値段（複数件ある場合は最安値）を調べる。

● 結果

・上記の検索を通じ、合計 112 件の愛知県内病院記念誌（およびそれに類するもの）の存在を確認した。

・112 件のうち、愛知県内図書館に所蔵されているものは 90 件、所蔵されていないものが 22 件であった。

・愛知県内図書館に所蔵されている 90 件のうち、CiNii Books、国会図書館ともに所蔵されていないものは 56 件であった。

・56 件のうち、著作権が切れている 50 年以上前（出版年が 1971 年以前）は 11 件であり、書名・出版年は以下の通りである。なお、*をつけた 3 件は記念誌ではなく年報や病院概要である可能性がある。

『病院の歩み』（宝飯国民病院）1953 年

『守山荘病院の歩み 創立十周年記念』1962 年

『半田病院のあゆみ：創立 15 周年記念』1964 年

『八千代病院十年の歩み：昭和 41 年』1966 年

『更生病院のあゆみ 1935-1967』1967 年

『守山荘病院の歩み』1967 年

『半田病院』1969 年*

『半田病院 20 年のあゆみ』1969 年

『稲沢市民病院のあゆみ：稲沢市民病院 21 周年記念誌』1969 年

『更生病院のあゆみ 昭和 45 年度』1970 年*

『更生病院のあゆみ 昭和 46 年度』1971 年*

・上記 11 件のうち、古書店で取り扱いがあるのは、『守山荘病院の歩み 創立十周年記念』（1962 年）2000 円、『更生病院のあゆみ 昭和 43～45 年度』（1968～1970 年）1500 円であった。しかし、後者は年報であると思われる。

・上記の病院のうち、宝飯国民病院（現、蒲郡市民病院）（1945年設立）、稲沢市民病院（1948年設立）、半田病院（1949年設立）は市立病院、更生病院（現、安城更生病院）（1935年設立）はJA愛知厚生連（愛知県厚生農業協同組合連合会）が経営する病院、八千代病院（1900年設立）、守山荘病院（現、もりやま総合心療病院）（1952年設立）は私立病院である。

・全112件のうち、1971年以前に出版されたものは14件であった。ただし、うち4件は記念誌ではない可能性がある。

（先述の11件に加え）

『国立名古屋病院二十年史』1966年

『更生病院のあゆみ 昭和43年度』1968年*

『十年のあゆみ』（資生会八事病院）1971年

・全112件のうち、ほとんどが現存する病院の記念誌である。このうち、統廃合がおこなわれた病院は昭和病院と愛北病院（2008年に二つが統合し江南厚生病院となった）、東海市民病院と知多市民病院（2015年に二つが統合し公立西知多総合病院となった）である。

● 考察

・愛知県内病院記念誌のうち、約半数は愛知県内の図書館内にしか所蔵されていないため、地域史・医療史の点からも重要なそれら資料へのアクセスが不便な状況である。